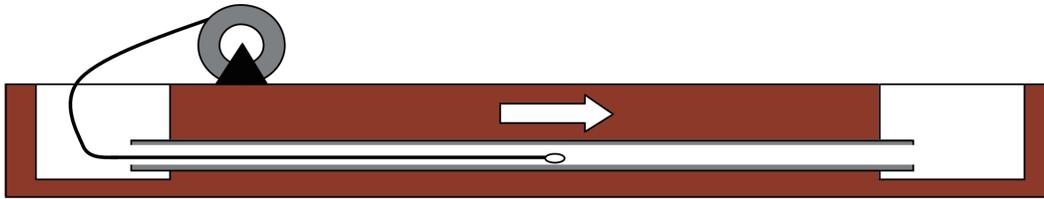


トリックトレンチレス工法®とは？

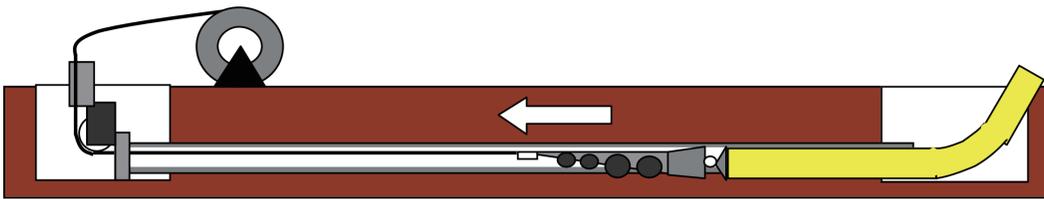
これまでのパイプスプリッター工法で使用されている鋼製の棒(ロッド)の代わりに**ワイヤーを使用した工法**です。

工法概要

①入替え対象の既設管内にワイヤーを挿入する



②ワイヤーを引き戻して既設管を切り裂きながら新設管を敷設する



施工状況



①ワイヤーの挿入



②本体の設置



③カッター、PE管設置



④新設PE管の引込み

引込装置

ワイヤーをつかみ油圧シリンダーを上方向に伸ばすことでワイヤーを引き上げる



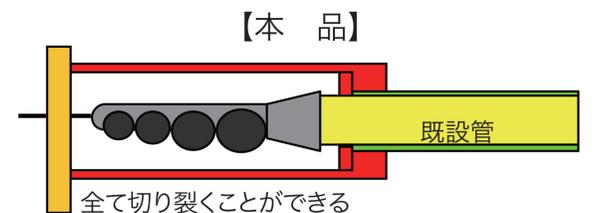
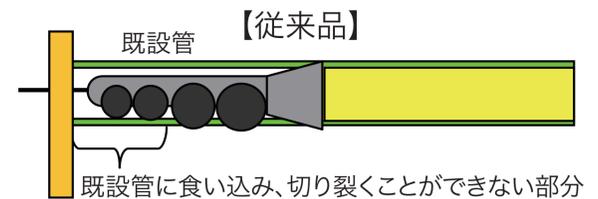
動力源である油圧と電源は掘削機から供給可能なため、パワーパックの用意は不要

滑車を利用して既設管内のワイヤーを上方向へ導く



一連の作業は、操作リモコンで地上から全ての作業が可

ブレード回収装置

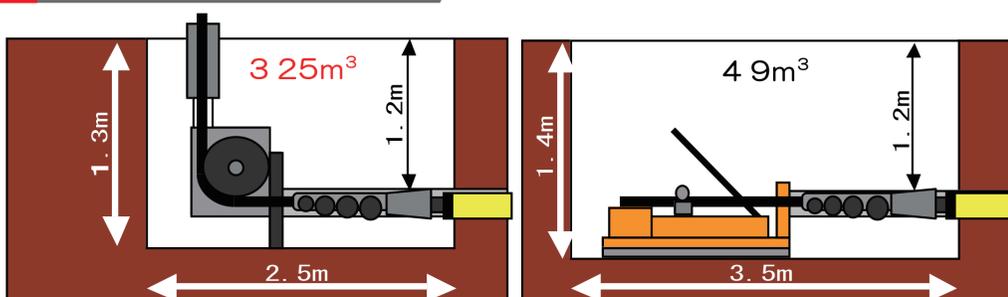


適用範囲

既設管の口径	40A→50A 50A→50A 50A→75A
既設管の管種	鋼管 (ソケット、SE継手、PCM継手、PCクランプ他)
施工可能延長	50m(60mワイヤーの場合)

導入メリット

掘削面積の削減



掘削量を1.65m³(従来工法に比べて**34%**)削減

施工時間の削減

ワイヤー・ロッドの挿入時間	
トリックトレンチレス工法®	3分
パイプスプリッター工法	15分
ワイヤー・ロッドの引込時間	
トリックトレンチレス工法®	15分
パイプスプリッター工法	20分

※30m施工時の比較

連続的にワイヤーを挿入・引戻しすることで時間を削減